

《担当者名》呉 秀娟（非）

【概要】

ゼロからの学習者を対象とする。中国語の発音とその表記法（ピンイン）を学び、特に四声に関して、徹底した指導を行なう。その際、学習者に苦手意識を持たせぬよう、日常に役立つフレーズや文法事項を分かり易く解説しながら、学習者が中国語を話すことに楽しさを感じられるよう留意する。また、語学的指導以外に、日本と中国の文化や習慣の違いなどについても、両者を比較しながら紹介してゆく。

【学修目標】

- ・中国語の発音とその表記法を理解し、初歩的な会話ができることを目標とする。
- ・中国語の初歩的な語彙や文法、表現法を理解し、身につけることを目標とする。

【学修内容】

| 回 | テーマ | 授業内容および学修課題 | 担当者 |
|----|--------|---------------------------|------|
| 1 | ガイダンス | 中国語とは？ | 呉 秀娟 |
| 2 | 発音 | 声調（四声）の発音 / 軽声の発音 | 呉 秀娟 |
| 3 | 発音 | 単母音の発音 / 複母音の発音 | 呉 秀娟 |
| 4 | 発音 | 子音の発音（1） / 簡単な挨拶 | 呉 秀娟 |
| 5 | 発音 | 子音の発音（2） | 呉 秀娟 |
| 6 | Aの部分 | 声調記号の付け方 / nとng発音 / 三声の変調 | 呉 秀娟 |
| 7 | Bの部分 | 数字（0～10） / 数詞述語文 / 疑問詞疑問文 | 呉 秀娟 |
| 8 | Cの部分 | 人称代名詞 / 動詞述語文 / 助詞“吧” | 呉 秀娟 |
| 9 | Dの部分 | 名前の聞き方・答え方 | 呉 秀娟 |
| 10 | 昼食会 のA | 指示代名詞 / 形容詞と形容詞述語文 | 呉 秀娟 |
| 11 | 昼食会 のB | 親族名称、存在を表す動詞“有” | 呉 秀娟 |
| 12 | 昼食会 | 正反疑問文 / 選択疑問文 / 名詞句 | 呉 秀娟 |
| 13 | 昼食会 のA | 親族名称 / 存在を表す動詞“有” | 呉 秀娟 |
| 14 | 昼食会 のB | 年齢の尋ね方 / 数字（10～99） | 呉 秀娟 |
| 15 | まとめ | 前期の総復習 | 呉 秀娟 |

【授業実施形態】

遠隔授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験60%、平常点（授業への取り組み・小テストの成績や課題の取り組みなど）40%

【教科書】

董燕・遠藤光暁著『ともだち・朋友 スリム版1』（朝日出版社、2010年）

【参考書】

必要に応じて授業中に紹介・説明する。

【備考】

基本的に教科書に沿って進むが、適宜プリントも配布する。

中国の伝統文化や現代中国事情についても、DVDを使用しながら適宜紹介する。

【学修の準備】

各回授業外学修時間は変わるが、平均すると各回40分程度の予習・復習が必要である。授業で習った単語・表現は、教科書付属のDVDとCDを活用しながら復習すること。

【ディプロマポリシーとの関連性】

(DP1) 生命の尊重を基盤とした豊かな人間性、幅広い教養、高い倫理観を身につけている。

(DP4) 臨床検査のスペシャリストとして、進歩や変化に常に関心を持ち、生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につけている。

(DP5) 多様な文化や価値観を尊重し、地域的・国際的な視野で活躍できる能力を身につけている。